

海運の重要性を学校教育の場で  
～新潟にて海事施設の見学会を開催～

日本船主協会は、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性を学校教育において取り上げていただくよう、教育関係者に対し商船をはじめとする海事施設等の見学会や授業への協力、資料提供等を実施しております。

今般、北陸信越海事広報協会等とともに、新潟国際貿易ターミナルの協力を得て、6月15日（水）に新潟市立南浜中学2年生約30名を対象に新潟東港国際ターミナルの見学会を開催しましたのでその様子をお知らせします。

**【見学会概要】**

雨が降りそうな天気であったことから、初めに、管理棟屋上よりコンテナターミナル全景を見学。生徒は、多くのコンテナが並んでいることに驚くとともに、そのコンテナがトラックに積み込まれたり・トラックから降ろされたりする様子を見ることができました。



その後、会議室にて弊会から、学習マンガ「船ってサイコー」を利用して商船の話、新潟東港国際ターミナル担当者からは同港ターミナルの概要について説明するとともに、「なぜ冷蔵・冷凍コンテナの色は白いのか」「1時間で何本のコンテナを船に積めるのか」「なぜガントリークレーンは3基あるのか」等の活発な質疑が行われました。

最後に、コンテナターミナルの構内を見学。ストラドルキャリアがトラックにコンテナを積み込む様子や迫力のあるガントリークレーンを間近に見ることができました。

当協会は引き続き、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。

